

# 平成 27 年度東口地域地震防災訓練概要

本年度は、新たに建物応急使用可否判定の要素を加え、次のような日程で、実施します。

訓練説明会&図上演習訓練：平成 27 年 10 月 29 日(木) 午後 1 時 15 分～4 時

実動訓練：平成 27 年 11 月 5 日(木) 午後 1 時～午後 4 時

検証会：平成 27 年 12 月 4 日(金) 午後

## 【訓練説明会&図上演習訓練について】

### 1. 目的

大規模店舗、中小商店、飲食店、駅等のそれぞれの立場で一連の初動対応をする中で共通する「来店しているお客様をどうするか?」という視点にフォーカスする。お客様を留める、むやみに出さないために「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」(内閣府)のチェックリストを用いて、建物の安全性を早期確認する。そして、「安全」・「危険」の被害状況の違いに応じたお客様への対処方法、手順を確認するとともに、お客様に対してどのような情報を提供する必要があるか、また、そのために現地本部でどのような情報共有をすることが有効かを確認する。

### 2. 日時

平成 27 年 10 月 29 日(木) 午後 1 時 15 分～4 時

※図上演習訓練後、平成 27 年 11 月 5 日(木)の実動訓練も含めた訓練全体についての説明会に移行します。

### 3. 場所

新宿区役所本庁舎 5 階大会議室(新宿区歌舞伎町 1 丁目 4 番 1 号)

### 4. 訓練想定

想定事象

日時:平成 27 年 10 月 29 日(水) 13 時発災

震度:都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模:M7.3 震源地:東京湾北部(平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」)

### 5. 訓練内容

図上演習訓練

進行役のファシリテータより、訓練想定に基づき、被害状況を付与する。どのように建物の安全性を早期確認するか、東口エリアに来店している多くのお客様にどのように対処したらよいか、より現実に近い形で図上演習訓練によりイメージする。

### 6. その他

図上演習訓練終了後、新宿区役所第一分庁舎 1 階のボード等が保管してある倉庫等を確認後、終了とする。

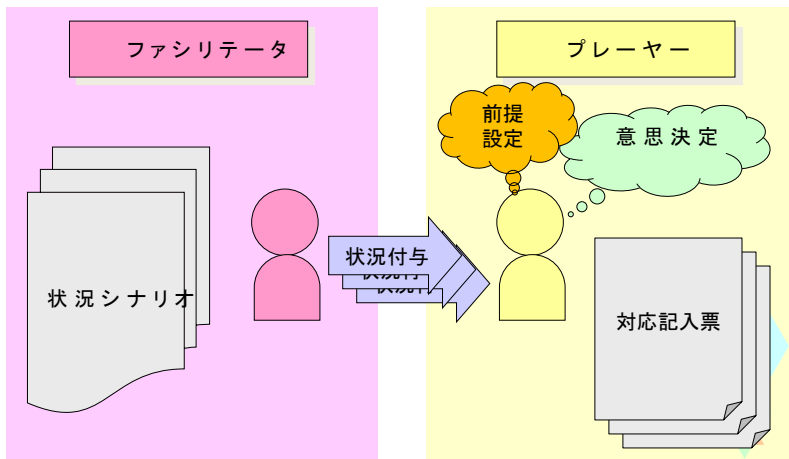
## ■レイアウト



## ■演習手法

### テーブルトップエクササイズ

テーブルトップエクササイズは、シミュレーションを取り入れるが、比較的ストレスが少ない環境の中で実施する。基本的にはワークショップ形式やブレインストーミングなどで問題を洗い出すのが目的である。



### 図上演習訓練

進行役のファシリテータより、訓練想定に基づき、被害状況を付与する。どのように建物の安全性を早期確認するか、東口エリアに来店している多くのお客様にどのように対処したらよいか、より現実に近い形で図上演習訓練によりイメージする。

## ■場面設定

平日13時発災

## ■対応する項目

- ・「建物応急使用可否判定」
- ・お客様対応
- ・避難誘導
- ・お客様への情報提供

### ■状況付与

- 建物被害の状況
- お客様、負傷者の程度と人数
- 火災の有無と個所及び程度
- 広域避難場所、帰宅困難者一時滞在施設の状況
- . . .



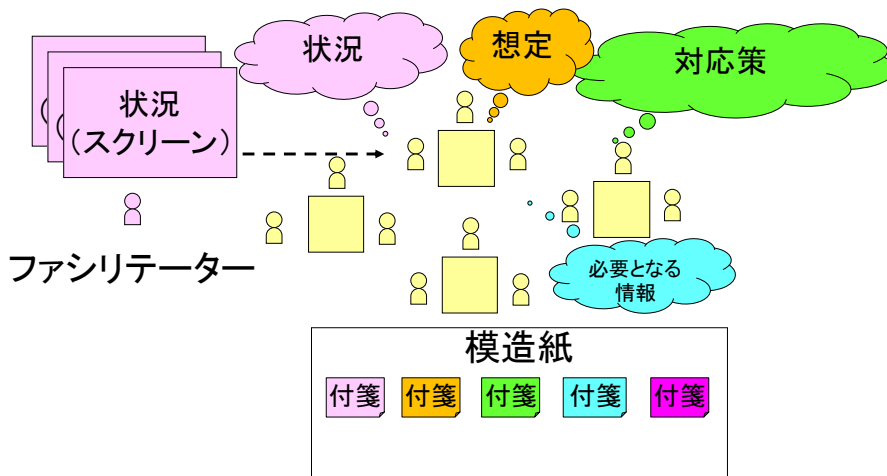
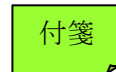
### ■想定

- 帰宅困難者、滞留者の人数
- 対応できる人数
- 知り得る情報
- . . .



### ■検討する内容

- 必要となる情報
- 課題



### ■スケジュール

- 13:15~13:30 オリエンテーション
- 13:30~14:10 平日 13時発災 図上演習開始  
チェックリストに基づき建物の緊急点検、お客様に必要となる情報
- 14:10~14:40 課題整理
- 14:40~15:00 反省会
- 15:10~15:50 訓練説明会、質疑応答
- 15:50~16:00 新宿区役所第一分庁舎1階のボード等が保管してある倉庫等の確認

## 【実動訓練について】

### 1. 目的

大規模店舗、中小商店、飲食店、駅等のそれぞれの立場で一連の初動対応をする中で共通する「来店しているお客様をどうするか?」という視点にフォーカスする。お客様を留める、むやみに出さないために「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」(内閣府)のチェックリストを用いて、建物の安全性を早期確認する。そして、「安全」・「危険」の被害状況の違いに応じたお客様への対処方法、手順を確認するとともに、お客様に対してどのような情報を提供する必要があるか、また、そのために現地本部でどのような情報共有をすることが有効かを確認する。

### 2. 日時

平成27年11月5日(木) 午後1時～4時

### 3. 場所

(1)新宿区役所第一分庁舎1階(新宿区歌舞伎町1丁目5番1号)に次のスペースを用意する。

- ① 東口現地本部
- ② 各事業所と仮想した場所(傷病者の選別等)

(2)ハイジア1階(新宿区歌舞伎町2丁目44番1号)に次のスペースを用意する。

- ① 応急救護所(トリアージポスト)、応急手当所(軽傷者のみ)
- ② 医療機関(重傷者のみ):大久保病院(新宿区歌舞伎町2丁目44番1号)であると仮想したスペース  
※訓練終了後の反省会も、ハイジア1階で行う。

### 4. 訓練想定

想定事象 日時:平成27年11月5日(木)午後1時発災

震度:都内で震度6強以上の地震が発生

規模:M7.3 震源地:東京湾北部(平成24年4月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」)

### 5. 訓練内容

#### 事前に自組織で実施

(1)建物簡易判定訓練

10月29日の訓練説明会で配布する被害情報に基づき、

事前に自組織の「建物応急使用可否判定」→お客様留める または、避難誘導

#### 訓練会場で実施

※午後1時から新宿区役所第一分庁舎1階で開始

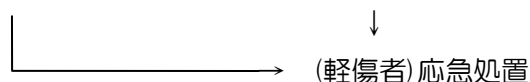
(2)東口現地本部情報共有訓練

東口現地本部運用 → 情報共有(西口現地本部、新宿区災対本部) → 情報伝達

(3)負傷者対応訓練

アクションカードを用いて災害医療への協力(負傷者発生直後の現場、医師会、大久保病院)

模擬負傷者発生 → 傷病者の選別 → 搬送 → トリアージ → (重傷者)医療処置



## 事前に自組織で実施

### (1) 建物簡易判定訓練

どうやって建物の簡易判定を

★10月29日の訓練説明会で配布する被害情報に基づき、事前に自組織の「建物応急使用可否判定」

↓

★【安全】お客様留める または、★【危険】お客様避難誘導

## 訓練会場で実施

※午後1時から新宿区役所第一分庁舎1階で開始

### (2) 東口現地本部情報共有

情報共有は誰とどんな情報を

東口現地本部

・新宿区役所第一分庁舎1階

↓自組織の「建物応急使用可否判定」を行った前提

↓★現地本部にて情報共有

↓ ※現地本部運営マニュアルに基づき、本部運営スタッフがなくても

↓★新宿ルールに基づき、防災無線等を活用して西口及び新宿区災対本部との情報共有を行う

※協議会メンバーでは集められない情報収集(西口情報、鉄道、医療機関等)

#### 誰が

★協議会メンバー

◆医師会

●大久保病院

▲特定メンバー

### (3) 負傷者対応訓練

重傷者が発生した場合どこへ

※重傷者のみを大久保病院に搬送するルールのため、傷病者の選別をして各事業所の現場レベルで傷病者の搬送優先順位付けをする必要がある。

各事業所(新宿区役所第一分庁舎1階に各事業所と仮想した場所を用意)

↓★アクションカードを用いて傷病者の選別・応急救護等への協力

↓★車付き担架・ブルーシートで「赤」重傷者のみを応急救護所(ハイジア1階ホール)まで搬送

↓ ※事前のブルーシートのレクチャーに基づき

応急救護所(ハイジア)

↓◆ハイジアで、トリアージポスト、応急救護所設置

↓◆到着後医師会によるトリアージ 「赤」は大久保病院へ

↓★アクションカードを用いて災害医療(医師会)への協力

医療機関(ハイジア1階に大久保病院と仮想したスペースを用意)

↓●大久保病院で「赤」重傷者に対する医療処置

↓★アクションカードを用いて災害医療(大久保病院)への協力

軽傷者が発生した場合はどう対処したら

※軽傷者は、事業所の現場レベルで応急処置を実施する。「応急手当所」の設置の検討

応急手当所 ← 「緑」軽傷者のみ ← トリアージ

・ハイジア

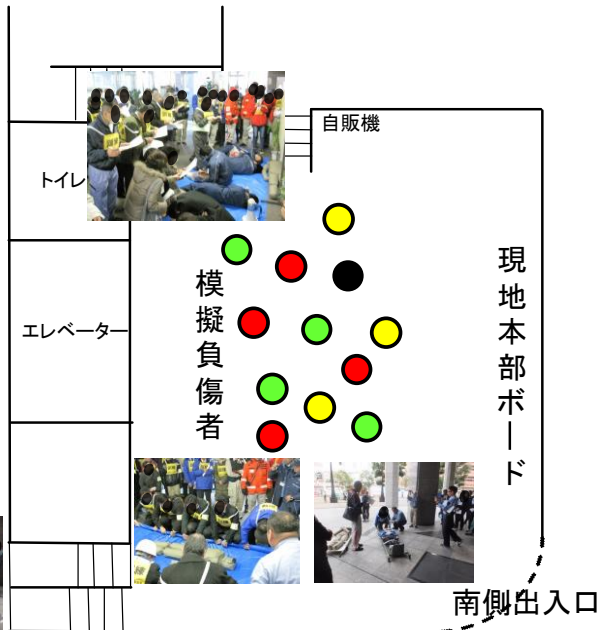
↓模擬軽傷負傷者発生

↓★アクションカードを用いて災害医療への協力(軽傷者に応じた応急処置)

# 会場レイアウト

## 新宿区役所第一分庁舎: 現地本部

搬送ルート



# 会場レイアウト

## ハイジア: トリアージポスト、応急救護所、応急手当所

区役所分庁舎より負傷者搬送

